



ROTAX RMC BAHRAIN
GRAND FINALS
SAKHIR NOV 29–DEC 06, 2025

BAHRAIN MOTOR FEDERATION | BMF
SAKHIR AGRIKOL JOURNAL AGRIKOL
BAHRAIN INTERNATIONAL
RACING CIRCUIT

技術規則

マイクロマックス | ミニマックス | E20 シニア | E20 マスターズ

Supported by:

#mojo

XPS

BELL
HELMETS

SODI

birelART

Praga

DELIORTO

© 2025 BRP-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BRP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.





TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

A. 125 マイクロマックス / 125 ミニマックス クラス 3

B. E20シニアとE20マスター.....13

電動パワートレインの技術仕様16





TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

A 章は、125 Micro MAX および 125 Mini MAX の技術規則について言及しています。

章 B は、E20 シニアおよびマスターズ技術規則について言及しています。

大会はRMCGF 2025技術規則 – マイクロマックス/ミニマックスに従って運営される。

/ E20 シニア / E20 マスターおよび公式速報および:

- ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2025 テクニカルレギュレーションと公式速報
- ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2025 競技規則および公式速報 • ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2025 補足規則 • CIK/FIA カート技術規則および公式速報

イベント主催者は、公式速報として公開される技術規則の変更を発行する権利を留保します。

英語が正式版です。

この文書の見出しは参照を容易にするためだけのものであり、これらの技術規則の一部を構成するものではありません。

A. 125 マイクロマックス / 125 ミニマックスクラス

1.1. 装備イベント中に許可さ

れる装備 (完成したカートとタイヤ)は、主催者により貸与ベースで提供され、本規則とその付録に準拠する必要があります。

1.2. 機材の数量はRMCGF2025技術規則第2.1条に準じます。

1.3. シャーシ、ブレーキシステム、ボディワーク

RMCGF2025技術規則第2.2条に準拠。

入札によって定義される、カテゴリごとに単一ブランドのシャーシ。

各クラスのブランドは次のとおりです。

125 Micro MAX :シャルル・ルクレール カート - BirelART

125 Mini MAX: プラガ - IPKarting

1.3.1. フロントフェアリング

a) CIK 特定規定第 31 条および CIK 技術図面 No. 3.2 および 3.2.1 に従い、すべてのカテゴリにおいて、車体認証の認証済みフロントフェアリングおよび認証済みフロントフェアリング取り付けキットの使用が必須となります。

b) 適切なフェアリングと取り付けキットが各カートの参加者/ドライバーに提供され、使用できるコンポーネントのみ。

c) CIK一般規定第2.3.3条の取り付け、設置、点検、違反の報告および罰則の適用は全面的に適用されます。

1.4. タイアドライ Mojo

C2 CIK Mini ウェット Mojo CW CIK Mini

フロント 4.0 x 10.0 – 5
フロント 3.6 x 10.0 – 5

リア 5.0 x 11.0 – 5 リ
ア 4.5 x 11.0 – 5

1.4.1. 各カテゴリの数量1. ドライタイヤ:

マイクロマックス

- イベント期間中1セット (パークフェルメ不可)。ただし、スチュワードはいつでも、パークフェルメのタイヤ。

ミニマックス



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

- 1セットは予選以外の練習走行用（パークフェルメ不可）です。• 1セットは予選から決勝まで（パークフェルメ不可）です。ただし、スチュワードは以下のいずれかを決定することができます。いつでも、タイヤをパークフェルメ内に保管することができます。

1.4.2. ウェットタイヤ：• 非

- 予選プラクティス（パークフェルメ）では、MOJO CW CIK Miniを最大1セット配布します。状態）。
- 予選練習でウェットタイヤの2セット目が配布されるかどうかは主催者が決定する権利を有する。最終まで。このセットはパークフェルメに設置され、保管されます。
- イベント期間中、各カテゴリーで最大2セットまでご利用いただけます。配布は雨の場合。

1.4.3. タイヤの配布と使用：• スリックタイヤの最初のセットは、

- シャーン抽選会の後に配布されます。このセットは、レース中使用されます。予選以外の練習すべてを対象としたイベント。
- 最初のセットの使用済みタイヤのうち、一定数（カテゴリーによって異なります）がパークフェルメに保管されます。非予選プラクティスの最終セッション終了後、各ドライバーに新しいスリックタイヤセットが配布されます。このタイヤは予選から決勝まで使用する必要があります。このセットの各タイヤには、バーコードとスタートナンバーが刻印されています。
- 各ドライバーは、スタートナンバーのマーキングが外側から見えることを確認する責任があります。そうでない場合は、タイヤをパークフェルメに持ち込み、再マーキングを受けなければなりません。• 雨が降る危険性が十分にある場合は、ウェットタイヤとホイールが時間通りに配布されます。これらのセットにはバーコードと開始番号が付いています。
- タイヤに機械的なトラブルが発生した場合、故意または誤用によるトラブルを除き、各ドライバーはフロントタイヤとリアタイヤ（ウェットタイヤとドライタイヤそれぞれ最大1本）を交換できます。タイヤに機械的なトラブルが発生した場合、車検員が、そのトラブルが材料の欠陥によるものか、故意または誤用によるものかを判断します。車検員の判断は最終的なものであり、抗議や上訴は認められません。
- 故障が故意または誤用によって発生したものでない場合は、次のルールが適用されます。
 - 全カテゴリーにおいて、予選外練習中または予選前には新品タイヤが交換用として提供されます。予選ヒート、プレファイナル、決勝中は、摩耗率が同等の使用済みタイヤが交換用として提供されます。

すべてのタイヤにはバーコードが付いており、指定されたドライバーのみが使用できます。

- タイヤのバーコードステッカーが本物ではない、または改ざんされたことが証明された場合、ドライバーは除外されます。イベントから。
- スタートサービスパーク入口では、車検員がバーコードステッカーをチェックします。バーコードステッカーが不正に改ざんまたは変更された疑いがある場合は、直ちにチーフ車検員に報告します。この時点から、チーフ車検員の最終決定があるまで、ドライバーとカートはスタートサービスパークへの立ち入りが禁止されます。
- 予選練習またはレース後のスポーツチェック中に、カートのタイヤにオリジナルではないバーコードステッカーが1つ貼られていることが発覚した場合、そのカートは失格となります。• スタート サービス パークの入口で、レース用に割り当てられたタイヤと異なるタイヤを1つ以上装着したカートを提示したドライバーは、正しいタイヤを装着したカートを提示し、イベントの公式タイムスケジュールで定められた、グループがサービスパークインに入るための規定時間内である限り、入場を許可されません。

タイヤはドライバーに割り当てられ（イベント期間中の貸与ベース）、登録され、Rotax EMS（イベント管理システム）によって定期的にチェック/スキャンされます。

タイヤの改造や化学処理は一切禁止です。「タイヤスニファー」Mini-RAE-Liteによるタイヤチェック：最大値は4ppmです。この値を超えた場合は2回目のチェックが行われます。値が4ppmを超えたままの場合、ドライバーはイベントから失格となります。

タイヤはタイヤに定められた回転マークに従って取り付ける必要があります。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

2. エンジン

RMCGF2025技術規則第2.4条に準じます。

125 ジュニア MAX エンジンは、エンジン構成 125 マイクロ MAX および 125 ミニ MAX のベースとなります。

注意: イベント中は常に、最低 50ml のギア オイルをサンプリングする必要があります。
オイルは必ず供給されたまま使用し、ギアオイルを別のブランドに交換することは許可されていません。
この目的のために、測定されたオイルは最大 1 分以内にポートから抽出する必要があります。

3. 機器の返却

RMCGF2025テクニカルレギュレーション第2.5条に準拠。

4. データ収集RMCGF2025技術規則第2.6条に従います。

5. 安全装置CIK-FIA技術規則第7条に従う。

6. 燃料/オイルイベ

ント期間中、事前に混合された燃料がパルクフェルメから提供されます。

7. エンジン上の広告

エンジンおよびエンジンアクセサリに、ROTAX、BRP、MOJO、XPS以外のスポンサーステッカーを貼ることはできません。

8. 変更、法的追加、非技術的項目、測定

RMCGF2025テクニカルレギュレーション第3条に準拠。

9. 技術仕様（エンジンおよびキャブレターシールの外側）

ROTAX カート エンジンの場合、エンジンと

キャブレター シール以外のすべてのコンポーネントについては、競技者が RMCGF2025 技術規則への準拠を保証する責任があります。

10. 点火システムRMCGF2025

技術規則第4.6条に準じます。

電子制御ユニット (ECU) にはステッカーが貼られていますが、ステッカーが判読不能または消えている場合でも合法です。

125マイクロMAX:「666815」

125ミニマックス:「666818」

ECU は、以下の手順に従って ECU テスター (Rotax 276230) でチェックする必要があります。

エンジン ケーブル ハーネスを ECU から外します。

ECU テスター ケーブル ハーネスを ECU に接続します。

ECU テスター ケーブル ハーネスのエネルギー ケーブルをエンジン ケーブル ハーネスの充電コネクタに接続します。

バッテリーに接続するたびに、ECU テスターのソフトウェア バージョンが約 2 秒間ディスプレイに表示されます。

ディスプレイに表示されるソフトウェア バージョンは 2V00 である必要があります。

ECU テスターのボタン「ü」を押してテストを開始します。

約 3 秒後、実際にテストされている ECU のタイプがディスプレイの 2 行目に表示されます。

約 30 秒後、テストの結果がディスプレイの最初の行に表示されます。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS



ECU テスターは次の結果を示す必要があります。

125マイクロMAXカテゴリ
666815MAX!!
テストOK!!

125 ミニ MAX カテゴリ
666818ミニマックス
!! テストOK!!

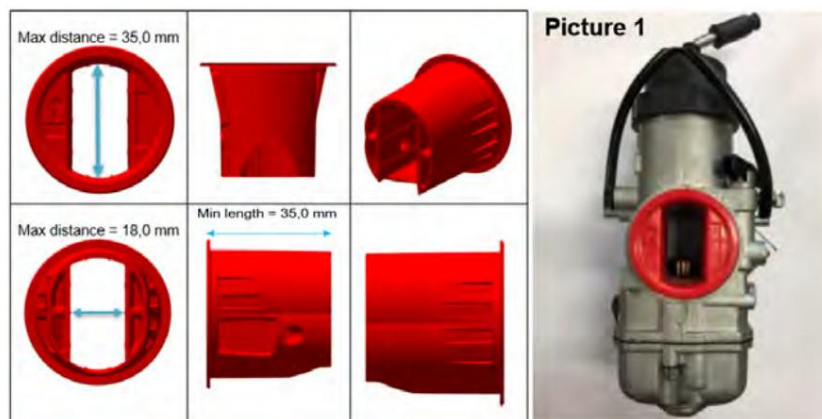
11. キャブレター

RMCGF2025テクニカルレギュレーション第4.9条に準拠。

11.1. 125 Micro MAXクラスおよび125 Mini MAXクラスの場合、スロットルボディリストラクターはキャブレターの後部に正しい向きで取り付けする必要があります（下の図1を参照）。

ROTAX部品番号: 267536

変更は許可されていません。入口のリブ付き表面は、寸法が変更されていないことを確認するのに役立ちます。



12. ラジエーター

シリンダーヘッドカバーからサーモスタットを取り外すことは許可された改造です。

ラジエーターは、それぞれの図に示すようにすべてのコンポーネントを取り付ける必要があります。

ラジエーターの周囲にテープ（広告のない中立テープのみ）を貼ることは、ラジエーターを通る空気の流れを制御するための許可された改造です。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

サーキット走行中はラジエーターからテープを取り外すことはできません。
ラジエーターを通る空気の流れを制御するその他の非オリジナルデバイスは禁止されています。

図に示されているバージョンのみが合法的に使用できます。

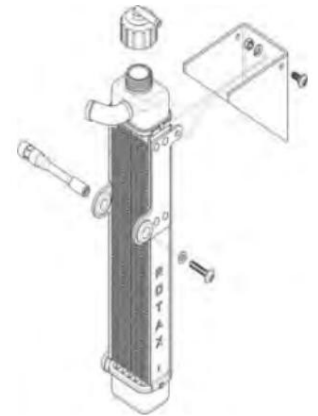
冷却エリア:

高さ: 280~300 mm

幅: 58~62 mm

ラジエーターの厚さ: 30~34 mm

オリジナルのフラップを取り外すことは許可されていません。



13. 排気ソケット

ガスケットリング付きの排気ソケットのみ合法的に使用できます。
直径 (A) は、長さ (B) が少なくとも 12 mm である必要があります。
排気ソケットの最大内径 (A) :

125 Micro Max: 18,20 mm (Rotax部品番号273 192) マーク125 Mini Max:
22,10 mm (Rotax部品番号273 196) マーク

「マイクロ」
「ミニ」

測定値 (C)は少なくとも18.5 mmでなければなりません。

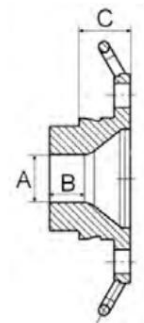
排気ソケットを変更または改造することは固く禁じられています。

注:すべての排気ソケットはROTAX社によって事前に計測されており、イベント前に上記の許容範囲内であることが確認されています。すべての参加者は、これらの規則を遵守する責任があることをご理解ください。

ROTAX または技術検査員は、イベント中いつでも排気ソケットまたはそのコンポーネントを検査または交換する権利を保持します。

排気ソケットの内部プロファイルは、テンプレート Rotax 277 405 を使用して確認する必要があります。

テンプレート (125 Micro MAX "18 mm", 125 Mini MAX "22 mm")を排気ソケットに可能な限り奥まで差し込みます (ガスケットは取り外し、カーボン堆積物は除去してください)。排気ソケットの輪郭とテンプレートの輪郭の間には、一定の隙間が必要です。



14. 排気システム

- イベント前にROTAXによって排気口が密閉されます。
- 競技者は、シールを破ったり、排気装置またはそのコンポーネントをいかなる形でも変更したりすることは禁止されています。
- ROTAX または技術検査員は、イベント中いつでも排気装置またはそのコンポーネントを検査または交換する権利を留保します。
- 3つの固定具 (リベット、ボルト、ロックナット)は常にしっかりと締め付け、多孔管と排気システム間の密閉を確保してください。
- 多孔管は排気システムに完全に挿入されている必要があります (右上の写真を参照)。多孔管の外側のシーリングリングが外部に突出することは禁止されています。(赤い矢印で示されています)。





TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

- シールは4つ目の穴（最大直径4mm）に通す必要があります。穴の位置は、右図に示すように、排気ガスの漏れを回避できる位置にする必要があります。穴あきチューブは、必ず3点で排気口にしっかりと固定してください。

- 排気システムを排気ソケットに固定するために、最小2個、最大4個のロータックス純正排気スプリングの使用が許可されます。• 排気システムを排気ソケットに固定するために「安全ワイヤー」を使用することは禁止されています。



以下の場合には、専用の排気システムを使用する必要があります。

125 マイクロマックス :ロータックス部品番号 273 136

125 ミニマックス :ロータックス部品番号 273 137

排気管の外装は両バージョンに共通です。違いは内部部品にあります。

サイレンサーは、90°エルボ出口の方向（排気ガスの方向）がシャーシのどのコンポーネントにも害を及ぼさない位置に取り付ける必要があります。

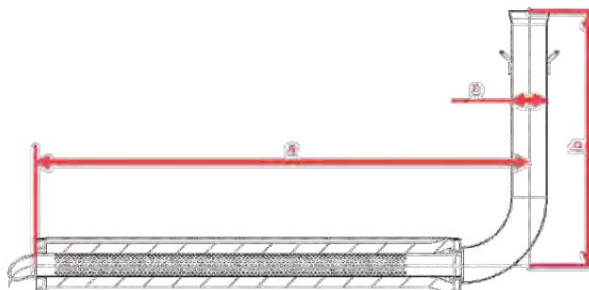
排気装置は、排気ソケットとガスケット リングの周囲が完全に密閉されるように取り付け、固定する必要があります。

下の図の測定値は次のとおりです。

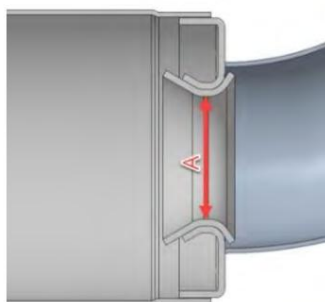
(a) 580 mm $\pm$ 5 mm

(b) 299 mm $\pm$ 5 mm

(c) 42mm $\pm$ 3mm



幅28.0mm、厚さ1.5mmの平板がセクション「A」を通過しないこと（内部の排気部品は事前に取り外す必要があります）。また、直径26.0mmの鋼球が下図のセクション「A」を入口から通過し、90度エルボを完全に通過できること。すべての排気ガスはセクション「A」を通過する必要があります。

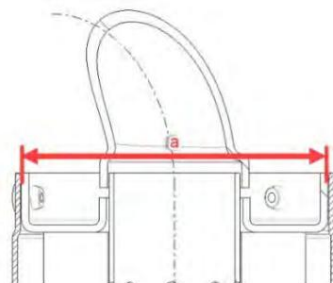


下図の排気システムサイレンサー端（a）の内側の寸法は最大63.0mmである必要があります。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS



(注:これは穴あきチューブの測定値ではありません)

排気装置は、剛性マウントを使用してシャーシにしっかりと取り付ける必要があります。

排気装置は、2つの ROTAX サイレント ブロック (部品番号 660920 または 260657 が使用可能) を使用してリジッド マウントに取り付ける必要があります。

排気動作として許容されるのは、2つのサイレント ブロックの偏向のみです。

排気装置は、2つのサイレント ブロックにストレスがかからないニュートラル位置に取り付ける必要があります。

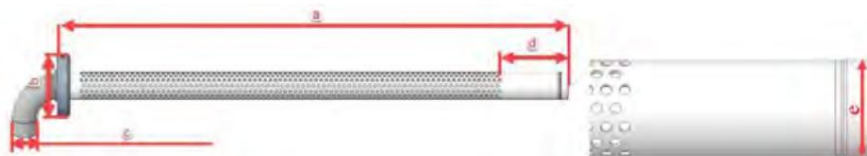
125 マイクロ MAX 穴あきチューブ

ROTAX部品番号: 273212

下の図の寸法は次のとおりです。(a) 少なくとも498 mm (b) 最小外径61 mm

(c) 最大外径26 mm (d)

最小長さ63 mm (e) 最小外径26.0 mm



125 Micro MAX に合法的な唯一の絶縁マットは次のとおりです。

ROTAX部品番号297982

新しいサイズ最小480 x 270mm (+/-10mm)

新しい重量 207gr (176g - 238g)

使用重量最小140g

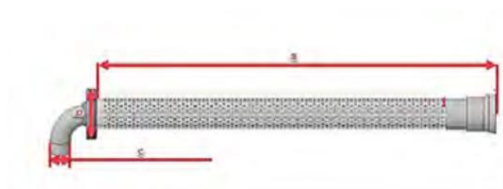
使用重量最大350g

125 ミニ MAX 穴あきチューブ

ROTAX 部品番号 273211

下の図の寸法は次のとおりです。(a) 少なくとも480 mm (b) 最小外径61 mm

(c) 最大外径26 mm



注意:

Mini MAX 穴あきチューブには、外側から見える ID マーカー 「O」が刻印されています。

細かいメッシュは、穴あきチューブの小さな穴をすべて覆う必要があります。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS



125 Mini MAX に合法的なアイソレーション マットは次のもののみです。
ROTAX部品番号297985

新しいサイズ最小490 x 180mm (+/-10mm)
新しい重量 141g (119g – 163g)
使用重量最小110g
使用重量最大350g

Sponsored by:

MOJO

XPS

BELL

SODI

birelART

CHARLES LECHE

Peaga

FORMULA

DELORTO

WOOD

© 2024 BRP-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BRP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.

10月17日





**TECHNICAL
REGULATIONS**
MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

15. シャーシ、エンジン、キャブレター、ドライブの許可された調整
列車のオプション

15.1. 125 Micro MAX – シャルル・ルクレール カート - BirelART

番号	項目	仕様
1	フリープラクティス1回目ではキャブレターとギアリングが必須です。	114 メインジェットを取り付ける必要があります。 フロントスプロケット14歯、リアスプロケット64歯。 注意 :正しいメインジェットを取り付ける必要があります
2	2回目のフリープラクティスから最終日までのキャブレターとギアリングオプション 決勝戦	キットに付属のメインジェットはどれでも使用できます。(105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120) フロントスプロケット 14 歯、リアスプロケット 63、64、または 65 歯。
	スパークプラグの種類とギャップ	NGK GR8DI。ピンゲージ1.20 mmは2つの電極の間に収まらない必要があります。
3	チェーンの長さの種類	イベントで製造元から供給されたチェーンのみ使用できます。チェーンの長さは 102 です。
4	車高	フロント :未定 リア :未定
5	キャンバーとキャスト	キャンバー :TBC キ ャスター :TBC
6	アッカーマン設定	TBC
7	シート固定	TBC水
8	リアバンパー	平方向ではなく垂直方向への移動が許可されます。
9	オプションパーツ	未定

2回目のフリープラクティスからROTAXの推奨 :ジェット114、ニードルポジション4、スパークプラグギャップ1.15mm、エンジン温度85°C

注意: RMC GF 2025 技術規則およびその付録に従って、特定のカテゴリ向けにメーカーがイベントで供給した標準コンポーネントのみを使用できます。





TECHNICAL
REGULATIONS
MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

15.2. 125 ミニ MAX – プラガ - IPKarting

番号	項目	仕様
1	フリープラクティス1回目ではキャブレターとギアリングが必須です。	118 メインジェットを取り付ける必要があります。 フロントスプロケット14歯、リアスプロケット74歯。 注意: 正しいメインジェットを取り付ける必要があります。キットに付属のメイン
2	2回目のフリープラクティスから最終日までのキャブレターとギアリングオプション 決勝戦	ジェットはどれでも使用できます。(110,111,112,113,114,115,116,117,118,119,120) フロントスプロケット14歯、リアスプロケット73,74,75歯。
3	スパークプラグの種類とギャップ	NGK GR8DI。ピンゲージ1.20 mmは2つの電極の間に収まらない必要があります。
4	チェーンの長さの種類	イベントで製造元から供給されたチェーンのみ使用できます。チェーンの長さは 100 または 102 です。
5	車高	フロント: TBC リア: TBC
6	キャンバーとカスター	未定
7	アッカーマン設定	未定
8	シート固定	未定
9	その他の注意事項	TBC水
10	リアバンパー	平方向ではなく垂直方向への移動は許可されます。

2回目の非予選練習からROTAXはジェット118、ニードル位置4を推奨します。
スパークプラグギャップ1.15mm、エンジン温度65°C。

注意: RMC GF 技術規則 2025 およびその付録に従って、特定の 카테고리向けにメーカーがイベントで供給した標準コンポーネントのみを使用できます。





TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

B. E20 シニアおよびE20 マスター

16. 装備イベント中に

許可される装備（完成したカートとタイヤ）は、主催者により貸与ベースで提供され、本規則とその付録に準拠する必要があります。

17. 装備の量

RMCGF2025技術規則第2.1条に準拠。
ROTAXプロジェクトE20車両1台

* ROTAX レース マネージャーは、イベントの主任検査官と調整し、必要に応じて技術的な理由または事故による損傷により、車両またはいずれかのパワー トレイン コンポーネントの交換を許可する場合があります。

18. シャーシ、ブレーキシステム、ボディワーク、後輪保護システムが以前の CIK 認証。

Rotax が提供する単一ブランド シャーシ SODI。
シャーシはドライバーにランダムに割り当てられ（イベント期間中の貸与ベース）、登録され、Rotax EMS（イベント管理システム）によって定期的にチェック/スキャンされます。

シャーシは、RMCGF 技術規則 2025 およびその付録に準拠している必要があります。
後輪が車体側面の内側にあることは許可されます。

最小リアホイールベースは、最も広い部分で 1340 mm です。

最大リアホイールベースは最も広い部分で1400mmです。

ROTAX が提供するロング リア ハブ (Alu リア ハブ D50 L90 K8 PC0252.528) は、ウェット タイヤおよびリムと組み合わせてのみ使用できます。

主任検査官は、例えばドライバーの身長がカートにうまく収まらない場合など、シャーシへの変更を許可する場合があります。

すべてのシャーシには、固有のシリアル番号（バーコード）が付いたシャーシシールが付いています。

イベント期間中、ドライバーはROTAX E20レースマネージャーまたは車検の承認を得た場合にのみ、Project E20車両を変更できます（この決定は、部品の故障または事故による損傷の場合のみ可能です）。この場合、フレームおよびその他の必要な部品の代金は前払いとなります（価格はイベント前にメーカーの価格表で決定されます）。

シート

• RotaxまたはSODI Kartから提供されたオリジナルのシートのみ使用できます。• 規則に従ってシートを取り付けるのは、ドライバー/参加者の責任です。• シートのすべての固定ネジとナットは、常に取り付けられ、締め付けられていなければなりません。• 追加のシートステー（サポート）は、シャーシに取り付けて締め付けるか、シャーシから取り外す必要があります。• フレームに溶接されたシートサポートは、Rotaxによって許可された場合を除き、曲げてはなりません。• 鉛はシートにのみ取り付けする必要があります。

アクスル :RotaxまたはSODIが供給する純正リアアクスルのみ使用可能です。• リアアクスルの切断は禁止されています。• リアアクスルに何かを取り付けることは禁止されています。• スタブアクスルの調整部分を覆ってはいけません。

スタビライザーとスリーブは、両端を常にシャーシに取り付けて締め付ける必要があります（位置は自由です）。

ステアリングホイールは、標準またはオプションのハンドルを使用して、ドライバーに合わせて任意の高さ位置に取り付けることができます。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

ROTAXが指定／定義する材質。ステアリングシャフトは切断できません。

フロアトレイ : シャーシプロテクターを含むすべてのネジとナットは、常にしっかりと締め付けられていなければなりません。• データ収集センサーは、フロアトレイの固定ネジの1つに取り付ける必要があります。• フロアトレイに穴を開けることは許可されていません。• フットレストを取り外すことは許可されています。

リアバンパーの2つのサポートは、常にフレームにしっかりと固定する必要があります。リアバンパーのネジは、リアバンパーが横方向にのみ動くように緩めることができます。

グランドファイナルでは、シャーシ製造元または ROTAX から供給されたオリジナルのブレーキ パッドのみの使用が許可されます。

リムを含め、ROTAXまたはSODIが元々供給した部品のみ使用が許可されます。

合法的なオプションパーツ:

- 短いペダル。• 短いブレーキロッド。• 角度付

きステアリングホイールボス。• 調整可能なステアリングホイールボス。

フロントフェアリ

ング RMC GF2025 技術規則 (ジュニアマックス、シニアマックス、DD2、DD2 マスター) の第 2.2.17 条に従って、E20 車両は、ROTAX によって提供される場合のみ、既存の認証を使用できます。

19. タイヤカテ

ゴリーごとの数量 ドライタイヤ:

MOJO D5 CIK Prime Mojo • 1 セットは予選以外

の練習走行用(非パルクフェルメ状態) • 1 セットは予選から決勝まで(パルクフェルメ状態)。

ウェットタイヤ : MOJO W5 CIK •

予選以外の練習走行では最大1セット配布されます。• 予選から決勝まで、ウェットタイヤの2セット目を配布するかどうかは主催者が決定します。• イベント全体では、各カテゴリー最大2セットが利用可能です。

雨天時のみ配布されます。(パルクフェルメ状態)

19.1. タイヤの流通と使用

- スリックタイヤの最初のセットは、シャーシ抽選後に配布されます。このセットは、イベント中、予選以外のすべての練習走行で使用されます。
- 最初のセットからの使用済みタイヤの一定数 (カテゴリーによって異なります)は、パルクフェルメに保管されます。• 予選以外の練習走行の最後のセッション後、各ドライバーに新しいスリック

タイヤのセットが渡されます。このタイヤは、予選フェーズから決勝まで使用する必要があります。このセットの各タイヤには、バーコードとスタートナンバーがマークされています。• 各ドライバーは、スタートナンバーのマーキングが外部から見えることを確認する責任があり、そうでない場合は、タイヤをパルクフェルメに持ち込んで再マーキングする必要があります。• 雨の危険性が妥当な場合は、ウェットタイヤとリムが適時に配布されます。予選以外の練習走行に提供されるウェットタイヤと、予選から決勝まで提供されるウェットタイヤは、常にパルクフェルメに保管する必要があります。これらのセットの各タイヤには、バーコードとスタートナンバーが刻印されています。• タイヤに機械的な不具合が発生した場合、故意または誤用による不具合を除き、各ドライバーはフロントタイヤとリアタイヤ (ウェットタイヤとドライタイヤそれぞれ最大1本)を交換できます。タイヤに機械的な不具合が発生した場合、技術検査官が不具合の原因が材料の欠陥によるものか、故意または誤用によるものかを判断します。技術検査官の判断は最終的なものであり、抗議または上訴の対象とはなりません。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

- 故障が故意または誤用によって発生したものでない場合は、次のルールが適用されます。
 - すべてのカテゴリーにおいて、フリープラクティス中または決勝レース前に交換用の新しいタイヤが提供されます。予選、予選、準決勝、決勝では、摩耗率が同等の中古タイヤを使用する。交換品として提供させていただきます。

すべてのタイヤにはバーコードが付いており、指定されたドライバーのみが使用できます。

タイヤは（イベント期間中の貸出ベースで）ドライバーに割り当てられ、登録され、定期的に Rotax EMS（イベント管理システム）によってチェック/スキャンされます。

タイヤの改造や加工は一切禁止です。「タイヤスニファァ」Mini-RAE-Liteによるタイヤチェック：最大値は4ppmです。この値を超えると2回目の検査が行われます。値が4ppmを超えたままの場合、ドライバーはイベントから失格となります。

タイヤはタイヤに定められた回転マークに従って取り付けする必要があります。

20. FIA CIK 承認 065-AED-20 に準拠した電気パワートレイン。

21. 機材の返却 RMC GF2025 技術規則第 2.5 条に基づく（ジュニアマックス、シニアマックス、DD2、DD2）

22. データ収集 E20 車両には、
ROTAX TRAX デバイスとカスタム MXM データ ロガーが付属しており、この MXM データ ロガーには、絶縁モニター システムと安全警告灯が組み込まれています。
このデータロガーはいかなる形でも変更、操作してはなりません。
データロガーの Wi-Fi 接続へのアクセスは、ROTAX スタッフのみに許可されます。
ROTAX チームは、必要に応じていつでもすべての車両のすべてのデータに完全にアクセスできます。

重要: ディスプレイを何らかの素材で覆うことは固く禁じられており、絶縁監視警告灯はいかなる場合も視界を遮らないようにしてください。

提供されたデータ システムを削除したり、いかなる形でもこれらのシステムを変更することは禁止されています。

競技者が提供されたデータシステムのいずれかに干渉したことが判明した場合、ドライバー/競技者はイベントから除外されます。

ROTAX の決定により、ドライバー向けの印刷データパックを提供できます。この目的のため、すべてのドライバーのデータはいつでも共有できます。

23. 安全装置

CIK-FIA 技術規則第 7 条に準拠。

24. プロジェクト E20 車両への広告

ROTAX、BRP、MOJO、XPS 以外のスポンサーステッカーは、電動パワートレインまたはそのいずれにも貼ることはできません。コンポーネントまたはアクセサリ。

25. 変更、法的追加、非技術的項目、測定

電動パワートレインおよびその付属部品は、いかなる形でも改造してはならない。「改造」とは、当初設計されたものと異なる状態を表す、形式、内容、または機能の変更。

ドライバー/競技者はバッテリー充電器の作業やメンテナンスを行うことは許可されていません。

電動パワートレインまたはその付属品。

競技者がパワートレイン部品または充電装置のいずれかに干渉したことが判明した場合、そのドライバー/競技者はイベントから除外されます。

電動パワートレインまたはその付属品の作業を行うことができるのは、資格を有する ROTAX 従業員のみです。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

電動パワートレインの技術仕様

モーター

ROTAXが設計したトランスミッション一体型永久磁石同期モーター（PMSM）

コントロールユニット

専用に開発されたVCU（車両制御ユニット）

バッテリー

BMS（バッテリー管理システム）およびIMD（絶縁監視装置）を含むリチウムイオン電池

冷却システム

最適化された空冷・液冷複合システム

システム電圧公称値

350V

電子ブレーキ/回生

非アクティブ化

ブースト機能

利用可能。ROTAXにより事前設定済み。ドライバーが操作します。

リバース機能

ご利用いただけます。ドライバーによる操作となります。

認証

CIK-FIA承認 065-AED-20

デクラ

充電

AC / CEE16

26. パワー設定E20 に

は 3 つの事前プログラムされたパワー設定があり、ROTAX によって提供および制御される代替イグニッション キーをインストールすることで調整できます。

緑のキー - ジュニアパワー設定

白鍵 - シニア向けパワー設定

オレンジキー - 予選モード

イベントのさまざまな要素で使用が許可される唯一のパワー設定モードは、イベントの補足規則で定義されます。

レース前およびレース後の技術チェックは、ROTAXレースマネージャーと連携して技術検査員によっていつでも車両、車両制御ユニット、キーシステムに対して実行できます。補足規則に規定されているようにイグニッションキー/電源設定を操作したり使用していないことが判明した競技者は、イベントから除外されます。

27. 充電器と電源使用できる電源と充電器は、ROTAX が提供するも

ののみとなります。

各ドライバーには、作業台、充電器、専用カート スタンドを備えた ROTAX オーニング内の場所が割り当てられます。

運転手とそのチームメンバーは、作業エリアと日よけを常にきれいに保つ責任があります。

運転手とそのチームは常に ROTAX スタッフの指示に従わなければなりません。

イベントのスポーツ規則に定義されているカメラを除き、ROTAX が提供していないデバイスを充電器、電源、または ROTAX Project E20 車両に接続することは固く禁じられています。



TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E20 SENIOR | E20 MASTERS

運転手と指名された整備士は、トレーニングを完了し、ROTAXスタッフから指示を受けた後、Project E20車両を充電システムに接続、充電、および充電システムの切断を行うことができます。

28. シャーシ保護

シャーシ保護プレートは、提供されたとおりに取り付け、各トラックセッションの前に必ず車両に固定する必要があります。

ROTAX レース マネージャーは、主任検査官とともに、保護プレートが供給されたとおりに取り付けられていないか適切に固定されていない場合、カートのサーキットへの進入を拒否する権利を有します。

このシャーシ保護プレートは、レース後の技術チェック/コンプライアンス項目ではありません。

シャーシ保護プレートが破損しているか固定されていない場合は、次のトラックセッションの前に交換する必要があります。

----- 技術規則終了 -----